

# ななかまど

NANAKAMADO

Hokkaido Information University Magazine

Volume 79

Published on March 20, 2023

# 079



特集

学生たち、さらに元気に活動中！

# EBETSU YUKI-AKA KOMICHI



さの ともや  
**佐野 友哉**  
情報メディア学科4年



十数年前に開催されたイベントの復活に際し、学生には経験者が居ない状況でしたが、過去に経験された大学職員の方や先生から当時の様子を伺いながら、無事開催に至ることができました。今年は新たに大麻銀座商店街でもアイスキャンドルイベントを開催。企画から運営まで学生がメインとなり活動しました。大麻銀座商店街、北海道情報大学それぞれ開催に向けてご協力いただいた皆様、当日ご来場の皆様、本当にありがとうございました。



# RI

## 約12年ぶりに ゆきあかり こみち えべつ雪灯小路が開催

2023年2月、約12年ぶりにえべつ雪灯小路が開催されました。えべつ雪灯小路は、北海道情報大学の敷地内で2008～2010年の2月に過去3回開催された冬のイベントです。

今年は、学生の佐野 友哉<sup>さの ともや</sup>さんが「学生みんなで江別の冬を盛り上げたい」という想いのもと、江別の大学に通う学生同士の交流と地域活性化を目標に本イベントの復活を発案。2月4日(土)には大麻銀座商店街、2月10日(金)には北海道情報大学の2会場開催へとバージョンアップしたイベントとなりました。

大麻銀座商店街ではEBETSUto<sup>※1</sup>が、北海道情報大学では主に隼田ゼミの学生とジモ×ガク<sup>※2</sup>の学生がイベントの運営に参

加。冬の寒さで冷えた身体を温めていただこうと、コーンスープの無料配布も行いました。

たくさんのろうそくが灯された真っ白な雪の道。当日は天候にも恵まれ、訪れた多くのお客様や学生たちが、その幻想的な光景に目を奪われていました。

※1 EBETSUto … 江別をフィールドに各分野のエキスパートとともに学生の「やってみよう」を実現していく団体。

※2 ジモ×ガク … 江別市内の4大学(酪農学園大学・札幌学院大学・北翔大学・北海道情報大学)の学生と、道内8自治体(芦別市・赤平市・江別市・三笠市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町)での地域活動とのマッチングを支援する取り組み。

元気！ × 蒼天祭



# 蒼天祭



Re:boot  
～私たちの青春～



# Sotensta

## 蒼天祭 ONLINE も開催！

2022年10月8日(土)・9日(日)、今年で3回目の「蒼天祭 ONLINE」をメタバースプラットフォーム「cluster」上で開催しました。

eDCタワー登頂チャレンジや謎解き、射的、作品展示など、様々なバーチャルコンテンツを豊富に用意。また、今年はようやくリアルでも蒼天祭が開催されたので、初日の午前中

に現地を撮影、編集した映像をメタバース校舎のステージで上映しました。2日目はリアル蒼天祭が終了した18時から開始し、最後はバーチャルな打ち上げ花火を鑑賞しました。

さらに同時期開催の札幌国際短編映画祭と初めてのコラボレーション。広い草原に焚き火、満点の星空の下で映画を鑑賞するメタバース上映会を実施しました。



2022年10月8日(土)、9日(日)に北海道情報大学“蒼天祭”が開催されました。

昨年と一昨年は新型コロナウイルスによってリアル開催は中止、オンラインのみとなりましたが、今年度の蒼天祭は3年ぶりの会場開催となりました。

ゼミ・サークルの展示や模擬店の出展、蒼天祭大花火など、久しぶりに行われた会場開催の蒼天祭は人々の活気で溢っていました。

また、オンライン蒼天祭も併せて開催され、蒼天祭初となる会場とオンラインのハイブリッドでの蒼天祭となりました。

# Re.boot



ai

学生実行委員会 委員長  
システム情報学科3年  
かわむら えりお  
**川村 恵利緒**



私たちが入学した2020年は既に新型コロナウイルスの影響を受けており、各種行事は軒並み中止になっていました。このため、思い描いていたキャンパスライフを送ることができませんでしたが、コロナ禍も3年目となり、講義の他、体育祭などのその他の行事等も徐々に再開できました。蒼天祭も3年ぶりとなる会場開催の実現に向け、学生実行委員会一同一丸となり、蒼天祭の成功に向けて始動しました。

今回の蒼天祭のテーマは『Re:boot ~私たちの青春~』とし、対面授業や会場開催の蒼天祭が戻ってきたことで、新たに気持ちを再起動

(reboot)したいという気持ちを込めました。

学内ではそれぞれのゼミ、サークルの特色を活かした展示や様々な模擬店が出展されました。さらに最終日には、秋の夜空に280発の様々な花火を打ち上げ、2日間の集大成を明るく彩りました。感染対策のため変更や規模を縮小しての開催でしたが、新たな形の蒼天祭を楽しんでいただけたと思います。

数年ぶりの体育祭、蒼天祭で学生実行委員会としても慣れない部分が多々ありましたが、両イベントとも無事に成功したことを嬉しく思います。ご協力いただきました関係者の皆様におかれましては、この場をお借りしましてお礼申し上げます。来年度以降もより良い体育祭、蒼天祭を開催してまいります。引き続き学生実行委員会へのご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



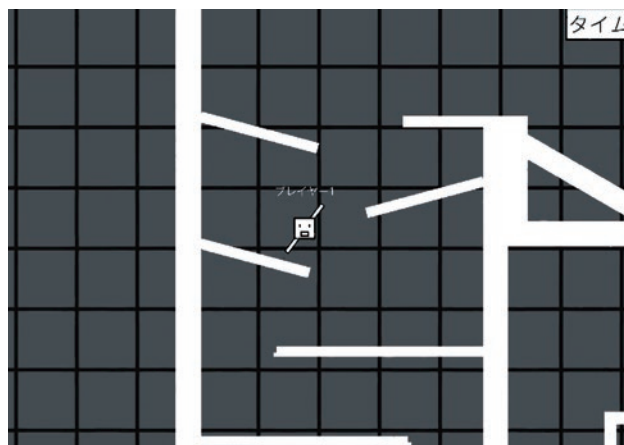


東京ゲームショーに参加した学生達

2022年9月に開催された日本最大級のコンピューターエンタテインメント総合展示会「東京ゲームショー」。この東京ゲームショーに、学内選考会を勝ち抜いた3チーム、10名がゲーム作品を出品しました。情報メディア学科では毎年、このイベントに向けて3、4年生が少人数のチームを組み、週に数回ある講義「ゲーム制作プロジェクト」の中で、企画やデザイン、プログラミングまで取り組み、オリジナルゲームの開発にチャレンジしています。



北海道情報大学ブース内のゲーム展示。笹谷 康太さん、天水 玲奈さん、木曾 允嵩さん（全て情報メディア学科4年）の3名を中心に展示の準備を行いました。



## StickSpinner

情報メディア学科3年 まえだ しゅんぺい 前田 瞬平さん

キャラクターに付いている棒を回して移動しゴールを目指すゲームです。4人まで同時に遊べます。



## Testers

情報メディア学科3年 もり けいと 森 敬登さん

人造人間たちの魂となり、彼らをプレイヤーの手で導いて強くする横スクロールアクションゲームです。

にできることを。

# 学生活動

## ショウ2022

少しずつコロナ禍の規制が緩和される中、情報大の学生たちは、このコロナ禍で蓄えた知識と技術を様々な場所で精力的に発表しています！



プレイの様子。IoT機器を駆使し自作した、足踏み式コントローラーがポイントです。

### どっかんどっかんびゅーん

しまだ みさき  
情報メディア学科4年 嶋田 后彩樹さん

ほそかわ はるか  
情報メディア学科3年 細川 遥香さん

ささき こうた  
情報メディア学科3年 佐佐木 孝太さん



プレイ方法について説明する佐佐木さん



プレイシーン

デザイナーの嶋田さん、プランナーの細川さん、プログラマーの佐佐木さんの3名で構成されたチームによって開発されたゲームです。

「多くの人が集まる会場で、人目を引くゲーム」というミッションを掲げ、ディスプレイを回転させて遊ぶゲームを構想したものの、展示上の問題点が見つかり、この構想を断念。ですが、足踏み式空気入れをコントローラーにして、縦長ディスプレイで遊ぶというアイデアが浮上し、簡単操作で直感的に短時間で達成感を得られるゲームデザインに変更しました。

地上から宇宙をめざすという設定は、情報大に宇宙情報専攻があることに由来しているそうです。

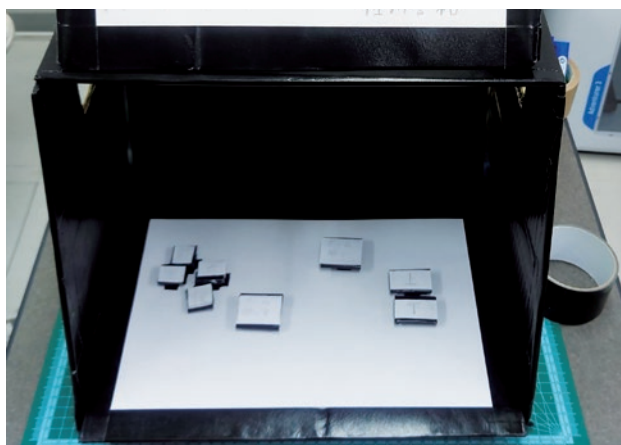
佐佐木さんは「3人でぶつかることもありましたが、それを乗り越えたからこそ生まれた作品です。このプロジェクトを通して計画性や協調性が養われました」と振り返り、「将来は多くの人に新しいエンターテインメント体験を提供できるコンテンツを制作したいです」と展望を語ってくれました。



### ジャイアントユキダマン

おがさわら ゆう  
情報メディア学科3年 小笠原 悠さん

雪玉を転がしてゴールを目指すゲームです。自作の専用コントローラーは思わず触ってしまいたくなる出来栄です。



### ぼっち専用パーテーション

さがわ よしと  
情報メディア学科3年 佐川 誉和さん

ノートパソコンを覗かれないようにする組み立て式パーテーション。こっそりゲームをするためのアイテムです。

## 学会での卒業論文発表



「低スペックな組み込み機器へのROP攻撃検証」というテーマで卒業研究に取り組んだのは、卒業後、セキュリティ分野への就職が決まっている多木 優馬さん(情報メディア学科4年)。

10月には3つの大舞台で研究内容を発表し、中でも、世界トップクラスの専門家によるサイバーセキュリティ国際会議「CODEBLUE」では、U25 枠にて日本人唯一の採択でした。

今回は、多木さんの研究から学会発表に至るまでの苦労や成長について聞いてみました。

多木 優馬さん

### — まず、研究の概要をお聞かせいただけますか？

ROP (Return Oriented Programming) 攻撃は、プログラム内の命令片を利用する攻撃で、近年注目を浴びている攻撃手法の一つです。一般的なPCの場合、高いスペックを活かしたセキュリティ機構を実装できますが、組み込み機器の場合、スペックの低さからROP攻撃に有効なセキュリティ機構を実装できないものもあります。このため本研究では、組み込み機器を中心にROP攻撃の検証を行っています。また、低スペックな組み込み機器へ危険性の高い攻撃の成立が確認できた場合はその攻撃対策も考案します。

### — この研究を始めたきっかけはなんですか？

昨年度参加させていただいたSecHack365というイベントで組み込み機器に関して研究している方がいて、自分も組み込み機器に関する知識を増やしたいと思い、卒業研究で組み込み機器のセキュリティに焦点を当てました。PCと組み込み機器では、OSの種類からCPUで実装されているセキュリティまで、多くの違いがあり最初は戸惑いましたが、類似している部分もあって、少しずつ自分の持っている知識と結びついていく感覚が楽しかったです。

担当教員の湯村先生(情報メディア学科)と福光先生(長崎県立大学)に的確なアドバイスをいただけて、コツコツと進捗を出すことができました。

### — 研究で大変だったことはなんですか？

ROP攻撃検証では、最初に攻撃対象となる組み込み機器の環境を構築しなければならないのですが、組み込み向けOSに関する情報はPC向けOSの情報と比べかなり少なく、さらに

マイナーな組み込み向けOSとなると、英語のドキュメントしか頼るものがないことが多く、翻訳ツールにかけて読んでいくしかありませんでした。

大変でしたが、ROP攻撃検証中はとても楽しかったです。というのも、自分がROP攻撃を知ったのがCapture The Flag (CTF)というハッキングの技術を競う競技だったのですが、ROP検証はCTFに出てくる問題のようで、どうすれば制御を奪えるのかいろんな方法を模索して攻撃を試して、というのを繰り返すのが楽しかったです。

### — 今回の研究内容で行った、学会発表について教えてください。

10月に卒業研究の内容を、情報処理北海道シンポジウム、Computer Security Symposium (CSS)のデモセッション、CODEBLUEのU25 枠の3つで発表しました。情報処理北海道シンポジウムとCSSはポスター形式の発表となり、デモ動画とポスターを交えての説明を行いました。CODEBLUEは30分間のスライド発表で、研究の概要からROP検証結果までを発表しました。特にCODEBLUEには国内外問わずセキュリティ業界の名だたる方々が参加しており、かなり緊張しましたが、多くのフィードバックをいただくことができました。

### — 今後の展望をお聞かせください。

今後もCPUやOSといったセキュリティの研究に励み、論文の投稿を続けたいと思います。特に組み込み機器方面は、昨今のIoTブームで多くの組み込み機器がネットワークに接続されるようになり、CPU、OSレベルでのセキュリティ機構の実装が重要だと思うので、これからも注視していきたいです。





## えべつ環境広場

# 宇宙の工作イベント

2022年11月20日(日)に野幌公民館で開催された江別市の環境の祭典「第32回えべつ環境広場」に、本学で宇宙情報を学ぶ学生有志10名が参加し、「プラネタリウム」と「三球儀」の工作イベントを企画、運営しました。

子どもが工作する上で難しい部分はあらかじめ学生たちが加工しておいたり、子どもたちへの説明方法をわかりやすく工夫するなどして実施。参加した30組の親子はとても楽しそうに、そして難しい工作をやり遂げて嬉しそうにしていました。

有志一同は「このイベントをきっかけに宇宙や地球に興味を持ってくれる子どもたちが増えてくれたらとても嬉しいです」と語っていました。



## 地域 × HIU

# 地域連携

情報大生の地域との関わり



2022年12月2日(金)～3日(土)に、北海道テレビ放送(HTB)主催のイベント「onちゃん25周年誕生会」が開催され、「onちゃんに大変身コーナー」の制作を河原ゼミが担当しました。

「onちゃんに大変身コーナー」は、Webカメラで人の動きを捉えるモーションキャプチャの仕組みを使ったデジタルコンテンツで、頭や手足を動かすとモニタの中のonちゃんも同じように動いてくれます。

ゼミ生は「noちゃん」や「キャタゴン」などの3Dキャラクターモデリングやイベント当日のアテンドを担当。たくさん子どもたちやonちゃんファンが遊びに来られ、大好評で終えることができました。



## onちゃん25周年誕生会

## onちゃんに

## 大変身コーナー



元気！ × アンプレ

# アンプレ

HIU ENTREPRENEURSHIP CENTER

アントレプレナーシップ教育

# 拡大中

## 「アントレプレナーシップ(アンプレ)」とは

近年ニュース等でも目にするようになってきた「アントレプレナーシップ」という言葉。これは、“自ら社会の課題を発見し、周囲のリソースや環境の制限を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神”<sup>※1</sup>を意味し、それを備えた人材を育成するための教育を「アントレプレナーシップ教育(通称:アンプレ教育)」と

※1 創業手帳「文部科学省 | 日本の課題を解決するために「アントレプレナーシップ教育」「大学発スタートアップ創出」を推進(2022年10月31日)」から抜粋  
(<https://sogyotecho.jp/mext/>)

呼んでいます。

本学のアンプレ教育では、そうした精神の醸成により学生の自己実現を促し、本学の教育の柱であるビジネス、デザイン、テクノロジーという3つの分野を掛け合わせることで、将来、社会変革のキーマンとなる人材を育成することを目指しています。

## アンプレ × 学生

本学にはアントレプレナーシップ教育の中心組織として、アントレプレナーシップセンターが設置されています。アントレプレナーシップセンターには、2022年度から始まったアンプレ選抜<sup>※2</sup>の入学学生と、起業に興味のある学生が所属し、日々、主体的に活動を行っています。

これまでは4坪ほどの小さな部屋を活動の拠点としていましたが、センター所属学生の増加と、アンプレ教育の強化に伴い、より大きな空間へとリニューアルされました。

※2 正式名称: 総合型選抜「起業・スタートアップ人材育成枠」



最優秀賞となった「GochiPay」をプレゼンする

やまだ たつや  
山田 達也さん(システム情報学科2年)



旧

新





同率最優秀賞となった「LEEX!!」

プレゼンする小松 将大さん(先端経営学科4年)と

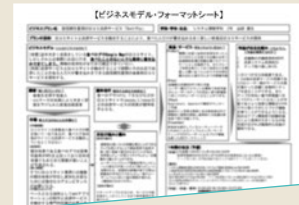
チームメンバーの平塚 榛さん(同4年)、高橋 ひかるさん(同3年)

## アンプレ×ビジネスプレゼンテーションコンテスト

本学で最も歴史が深い学内コンテストであるビジネスプレゼンテーションコンテストは、本学のアンプレ教育において、重要な位置を占める存在です。このコンテストは本学の経営系科目「ビジネスプラン」と連動しており、科目履修者を中心に、学年、学科を問わず広く参加者を募っています。特に「ビジネスプラン」履修者は、経営学に関する知識を講義で学んだのち、それらを活用して世の中の様々な課題の解決策をビジネスに仕立て、コンテストに応募します。こうした、学びと実践を一つの流れの中で行う体験を通して、単なる情報である「知識」を、実社会で活用できる「知恵」へと

昇華しています。

ビジネスプレゼンテーションコンテストは、コロナ禍中も途絶えることなく、今年で19回目の開催を数えました。今年度は一次審査に過去最多、全70チーム94名の応募があり、そのうちわずか10チームが2022年12月14日(水)に行われた二次審査(最終選考)に進出しました。熱のこもったプレゼンテーションで独創的な事業アイデアを発表、歴史上はじめて2チームが最優秀賞に輝きました。



参加者はビジネスモデル・フォーマットシートを用い、入念にプランを練る。

## アンプレ×ハッカソン

ビジネスプレゼンテーションコンテストは、年々作品の完成度が上がり、中には実際に社会実装の可能性のあるものも出ています。その一方で、コンテスト応募者の多くが先端経営学科に所属していることもあり、たとえ完成度の高いビジネスアイデアが出たとしても、それを形にするための技術力不足が課題となっていました。

本学には、システム情報学科や情報メディア学科などに所属する学生をはじめとして、開発スキルの高い学生が多く在籍していることから、アンプレ教育に関わる新たな取り組みとして、良いビジ

ネスアイデアを持っている学生と、高い技術力がある学生をマッチングさせ、短期間でプロトタイプ開発を行うイベントを開催する運びとなりました。

イベント名を「コネク<sup>ベータ</sup>β」とし、2023年2月21日～22日の2日間で開催、2日目の終わりには発表会を行いました。

今年度は試行的に開催し、翌年度以降の規模拡大を計画しています。今後の継続開催が実現すれば、質の高いビジネスアイデアを、アプリやWeb等の「モノ」が伴った現実味のある形で紹介することが可能になり、外部のより高難度の各種コンテストや、起業イベント等への出展が視野に入り、学生の成長機会が拡大すると考えています。



 2022年度 

## タイとの協働ワークショッププログラム 3年ぶりに対面で開催

2022年12月20日～28日に、タイとの協働作品制作ワークショッププログラム「国際コラボレーション」が3年ぶりに対面で開催されました。

2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で本学の全ての対面短期留学プログラムを中止としましたが、世界情勢や渡航先の水際対策動向など、様々な状況を鑑みた上で再開を判断し、派遣先となるラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(RMUTT)や本学教職員、派遣学生、そして派遣学生の保護者の皆様からのご理解とご協力の下で、ようやく対面での国際交流を再開することができました。

「国際コラボレーション」は本学で実施している全5種類の国際交流プログラムのうち、最もレベルの高いものとして位置付けており、参加できるのは学内選抜を勝ち抜き、かつ成績優秀な学生に限られます。

参加学生はRMUTTの学生と混成チームを作り、英語でコミュニケーションを取りながら、Web、短編映画、コンピュータプログラミング、そしてそれら3分野の合同グループの計4グループに

分かれ、協働作品を制作します。制作期間は前半戦をタイで8日間、後半戦を日本で8日間(2023年2月にタイから24名の学生が来学)の計16日間で、参加学生たちは両国の文化や風土を実際に肌で感じ、国籍の違うチームメンバーとの密接なコミュニケーションを通じて友情を育み、また同時に、作品制作を通して技術力を磨きます。

本プログラムは、言語や文化、また価値観も異なる外国の学生と、慣れない英語でコミュニケーションを取り、短時間で成果を残さなければいけないという点で、決して楽しいばかりではありません。しかし、短期間ながら苦楽を共にした両国の学生たちは、例年、プログラムの全日程終了後には空港で別れを惜しみ、中には涙を流す学生もいるほど深い友情で結ばれ、以降も連絡を取り合うことも少なくありません。

学生時代の留学体験は、学生を大きく成長させます。本学はこれからも、学生に多様な成長の機会を提供するため、本プログラムをはじめとして様々な国際交流プログラムを推進していきます。



# 市民向け公開講座

北海道情報大学では社会教育活動の一環として、公開講座を実施しています。  
どなたでも参加できますので皆様のご参加をお待ちしております。

**銀河のレシピ**  
～隠し味はブラックホール～ 定員 28名

5/23	講座形態 座学(初級)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 大井 渚

**クラスタリング技術について** 定員 25名

6/3	講座形態 パソコン実習(入門・初級)
	時間 9:30～11:00
	場所 実習室1
	担当講師 内山 俊郎

**健康を決める力とつくる力**  
人生100年時代の備え 定員 28名

6/13	講座形態 座学(初級～中級)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 本間 直幸

**分数の掛け算・割り算の意味を考えよう** 定員 30名

6/24	講座形態 座学(初級)
	時間 9:30～11:30
	場所 116教室
	担当講師 森山 洋一

**絵文字の「わかりやすさ」のふしぎ** 定員 28名

7/1	講座形態 座学(初級)
	時間 10:30～12:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 坂本 牧葉

**消費者行動論**  
～非合理的な行動をする私たち～ 定員 20名

7/6	講座形態 座学(初級)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 遠藤 雄一

**生体計測装置を使って病気を発見・予防しましょう** 定員 10名

7/18	講座形態 座学(講義・計測)(初級)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 千葉 二三夫

**夏休み自由研究教室**  
～子どもビデオ編集体験講座～ 定員 8名

7/29	講座形態 映像制作(小学3～6年生)
	時間 9:30～16:30(休憩1時間)
7/30	場所 画像メディア実習室
	担当講師 向田 茂 / 安田光孝

**教員のストレスについて考えてみましょう** 定員 15名

8/3	講座形態 座学(初級)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 五浦 哲也

**夏休み自由研究教室**  
～ドローンプログラミング・中高生編～ 定員 8名

8/8	講座形態 レゴ実習(中学生・高校生)
	時間 13:00～17:00
	場所 システム制御実習室
	担当講師 棚橋 二郎

**夏休み自由研究教室**  
～ロボットプログラミング・小学生編～ 定員 8組

8/11	講座形態 レゴ実習(小学5・6年生)
	時間 13:00～17:00
	場所 システム制御実習室
	担当講師 棚橋 二郎

**イーロン・マスク氏のカリフォルニア工科大学卒業式でのスピーチ** 定員 15名

8/26	講座形態 座学(英語)
	時間 9:30～11:30
	場所 実習室1
	担当講師 竹内 典彦

保護者の方もご参加ください。

**無料で手軽なデザインツール「CANVA」を使ってみよう** 定員 10名

9/4	講座形態 パソコン実習(入門)
	時間 18:30～20:00
	場所 実習室3
	担当講師 杉澤 愛美

**プログラミング講座**  
～顔検出機能を使ってみよう～ 定員 20名

9/23	講座形態 パソコン実習(小学校高学年以上)(初級)
	時間 13:00～14:30
	場所 LL・メディア実習室
	担当講師 藤原 幸幸

**集まれ小学生!! ピカッとプログラミング講座** 定員 10名

9/30	講座形態 パソコン実習(小学5・6年生)(中級～上級)
	時間 13:00～16:00
	場所 204教室
	担当講師 向田 茂 / 安田光孝

**中国料理から学ぶ中国語**  
～メニューを眺めて楽しく学習～ 定員 28名

10/12	講座形態 座学(入門～初級)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 飯嶋 美知子

**健康とIT**  
～ウェアラブル端末とスマートフォン～ 定員 28名

10/24	講座形態 座学(高齢者)(入門)
	時間 18:30～20:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 服部 裕樹

**サウンドプログラミング講座** 定員 15名

11/4	講座形態 パソコン実習(中学生・高校生)(入門)
	時間 13:00～16:00
	場所 実習室3
	担当講師 平山 晴花

**もしも、がんと診断されたら知ってほしいこと**  
～正しい情報を得るために～ 定員 20名

11/18	講座形態 座学(講義・体験学習)(入門)
	時間 10:30～12:00
	場所 札幌サテライト
	担当講師 戸田 奈美絵

**初心者のためのデータ解析** 定員 20名

11/25	講座形態 パソコン実習(入門)
	時間 13:00～15:00
	場所 実習室1
	担当講師 柳 信一

**マララさんの国連演説** 定員 15名

12/2	講座形態 座学(英語)
	時間 9:30～11:30
	場所 実習室1
	担当講師 竹内 典彦


**日常で運動をする意義と実施方法** 定員 10名

12/9	講座形態 座学(高齢者)(講義・体験学習)
	時間 9:30～11:00
	場所 eDCタワー 10階
	担当講師 綿谷 貴志

**お問い合わせ先**  
北海道情報大学 通信教育部事務部  
(公開講座担当)  
受付時間: 9:00～17:45 (土曜・日曜・祝日/休業)  
TEL. 011-385-4427 / FAX. 011-385-1074  
hiukouza@do-johodai.ac.jp

**お申込み**  
お申込み方法、その他詳細については、右の二次元コードからWebサイトをご確認ください。

情報大 公開講座



04

2023

- 6日(木) 入学式
- 4日(火)～11日(火) 前期スタートアッププログラム
- 12日(水) 前期 授業開始

10

2023

- 6日(金) 授業休業日
- 7日(土)～8日(日) 蒼天祭
- 14日(土) 月曜授業日

05

2023

11

2023

- 3日(金) 通常授業日
- 17日(金) 後期前半 授業終了
- 20日(月) 後期後半 授業開始
- 23日(木) 通常授業日

06

2023

- 9日(金) 前期前半 授業終了
- 10日(土) 創立記念日
- 12日(月) 前期後半 授業開始
- 16日(金)～17日(土) 体育祭

12

2023

- 26日(火)～ 年末年始休業期間

07

2023

- 17日(月) 通常授業日

01

2024

- ～8日(月) 年末年始休業期間
- 27日(土)、29日(月) 合同試験日
- 30日(火)～ 春季休業期間

08

2023

- 5日(土) 金曜授業日
- 7日(月)～8日(火) 合同試験日
- 9日(水)～ 夏季休業期間
- 21日(月)～26日(土) 夏期集中授業期間
- 28日(月)～ 追再試験期間

02

2024

- 2日(金)～3日(土) 一般1期入試
- 8日(木)～14日(水) 冬期集中授業期間
- 15日(木)～17日(土)、19日(月)～21日(水) 後期追再試験期間

09

2023

- ～2日(土) 追再試験期間
- ～20日(水) 夏季休業期間
- 21日(木) 後期スタートアッププログラム
- 22日(金) 後期 授業開始

03

2024

- 15日(金) 学位記授与式

# 教職員 動向

2022年8月1日～2023年3月31日

## 退職 2023年3月31日付

### 教員

教授 こばしり やすのり **小走 安則** 先端経営学科

教授 たにがわ たけし **谷川 健** システム情報学科

### 職員

あずま ひでとし **東 英俊** 会計課長補佐

にしむら まさる **西村 勝** 国際交流・留学生支援課長代理

# 編集後記

蒼天祭、東京ゲームショウ、国際コラボレーションなど、待ちに待ったリアル開催。そして本学では12年ぶりの開催となる「えべつ雪灯小路」。ちょうど国際コラボレーションでタイから来ていた学生さん達も参加してくれました。タイでは見ることのできない雪灯り。日本での良い思い出になってくれるとうれしいですね！



## 採用(新任教職員紹介) 2022年9月1日付

情報メディア学部  
情報メディア学科

准教授 ささき ようへい **佐々木 洋平**



### ご挨拶

「地球流体力学」という、天文学・地球惑星科学を「流体」をキーワードとして横断的に扱う分野が専門です。また、大規模数値計算・データ解析と計算機管理・運用・セキュリティについても研究しております。よろしくお願いたします。

### 経歴/プライベート

青森で生まれ、大学・大学院は北海道大学と、いわゆる「青春」を雪のある風景で過ごしました。学位取得後は関西の大学で教員をしていましたので、久しぶりに雪のある場所に帰って来た感じがしております。

大学に入った頃は「なんとなく物理・数学が好き」な学生でしたが、進学した研究グループが研究の足回りとして計算機ネットワークの構築運用にも力を入れていたことから、自由ソフトウェア・オープンソースソフトウェアの開発にのめり込み、結果としてこれらの開発・普及啓蒙活動がライフワークとなりつつあります。

学位取得後は前述のとおり関西の大学にて学部学科の計算機ネットワークの管理運用を行ないつつ、学生の自助自立運営組織を立ち上げ、計算機関連の教育を行なっていました。

昨今の計算機ネットワーク環境は大学ですら息苦しさを感ずる状況ですので、情報と冠した本学においても、学生がもっと自由に「遊び」もっと自由に「学べる」計算機ネットワーク環境をどうにかして提供していけたら良いな、と考えています。



## 大学広報プロジェクトメンバー

あんばいたかし おだしま けいた きのした あつし さとう まみこ  
安倍 隆 / 小田島 敬太 / 木下 篤史 / 佐藤 真美子  
なかみち だいき にたとり かつま はざお りゅうとく  
中道 大樹 / 似鳥 克馬 / 波佐尾 隆徳

「ななかまど」バックナンバーは  
大学Webサイトでご覧いただけます。

情報大 ななかまど

検索





# 北海道情報大学

〒069-8585 北海道江別市西野幌 59-2  
TEL: 011-385-4411 (代表)